



おお き だち  
**大 樹 立**



函南町教育委員会 生涯学習課  
 〒419-0122 函南町上沢 81

函南町中央公民館 (TEL979-1733 FAX979-1744)

子どもたちの健やかな  
 成長に向けて

函南町青少年  
 健全育成大会開催

健全育成大会開催

函南町青少年健全育成大会は、県の「静岡県青少年の非行・被害防止強調月間」である7月に毎年開催しています。今年も7月4日に函南町中央公民館で「地域のみんなで声掛け運動」をテーマに開催されました。

当日は、各種団体関係者や小中学校PTA会員など合わせて約4百人の参加がありました。

前半に行われた主張発表では、小中学校の代表児童生徒に加えて、田方農業高校から代表生徒に発表していただきました。

大会の参加者からは、素晴らしい主張発表だったと好評でした。

また、第60回社会を明るくする運動ポスター特選受賞者の表彰も同時に行われました。

主張発表者とポスター特選受賞者は次のとおりです。

わたしの主張発表者

- 松岡奈波 (函南小6年)
- 「職場体験で学んだこと」
- 石井華香 (丹那小6年)
- 「リーダーとしての責任」
- 山道兼太郎 (桑村小6年)
- 「ぼくたちの宝、原生林」
- 榎本大佑 (東小6年)
- 「次の一手」
- 望月洸佑 (西小6年)
- 「ごみゼロ函南町をめざして」
- 柿島海月 (函南中3年)
- 「見えない攻撃」
- 岩寄友香 (東中3年)
- 「はじめの一步を踏み出そう!」
- 梅原咲妃 (田方農業高校1年)
- 「ボランティアの大切さ」



▲各校代表の児童生徒が力強い発表を披露しました

第60回社会を明るくする運動  
 ポスター特選受賞者

- 寺田陽祐 (函南小6年)
- 小沢菜緒 (桑村小6年)
- 石原華織 (東小6年)
- 本木優志 (西小6年)
- 秋山未有 (函南中2年)



▲壇上に上がる5人の受賞者

大会の後半では、NPO法人静岡パソコンサポートアクティビティによる、「青少年を取り巻く有害情報環境対策講座」が行われました。

参加者から「情報化が進



む中で、何が有害かしっかりと判断し、子どもと接していきたい」「とても参考になった」という感想を多数いただきました。

健全育成大会を通じて、健全育成の重要性・取り組みが参加された皆さんにも伝わったのではないかと思います。



▲パソコンがもたらす情報と健全育成についての講演が行われました

青少年健全育成  
 関連事業の紹介

静岡県東部少年の船

静岡県東部の3市3町による「静岡県東部少年の船」事業が実施され、7月29日から8月4日までの7日間、函南町から15人の中学生が参加しました。

この研修は、目的地までの往復する船上と、北の大地、北海道の豊かな自然の中で行われました。

今年も天候にも恵まれ、研修生たちには、夏休みの良い思い出づくりができたようです。参加した研修生から多くの「参加してよかった」という感想が寄せられました。



▲参加者一同、みごとに息の合ったポーズです

### わんぱくクラブ 「海洋スクール」

8月10日～8月12日の3日間、横浜市少年自然の家（南伊豆臨海学園）で「海洋スクール」が行われました。心配した台風の影響もあまりなく、町内小学校から5年生・6年生、合わせて34人は、充実した研修を

行うことができました。

また、親元から離れた集団生活を通して「協力性」や「自主性」を学ぶことができたようです。

子どもたちの感想を紹介します。

□シーカヤックやカッター訓練をやれてよかったです。シーカヤックは岩のトンネルをくぐったのが楽しかったです。カッター訓練では、すごく疲れたけど、こぎ方を教えてもらってよかったです。次の日のタイムレースができなくて残念でした。けれど、海藻で作ったしおりができて良かったです。いつもできない体験ができてよかったです。またみんなと一緒に来たいです。

小松卓末（桑村小6年）

□海で遊んだり、シーカヤック、カッター、花火、しおり作りなど楽しくできてよかったです。カッターは練習して、タイムレースをやるうと思ったのに、風が強くなってできなくなっ



▲3日間の研修を終え笑顔が輝く研修生と引率者たち

てしまったのは残念でした。嬉しかったこともありました。わたしは、少し人見知りだから、うまくしゃべれるかなと思っていただけ、勇気を出してしゃべれてよかったです。3日間楽しかったです。

小澤萌虹香（東小5年）

□3日間楽しく過ごすことができました。カッターを進ませるのはすごく大変でした。でも、仲間がいたら頑張ることができたのだと思います。初めて会った人たちとも仲良くすることができてすごく嬉しかったです。南伊豆臨海学園では様々な体験ができました。戸田帆南（函南小5年）

### 親子で考える平和

8月5日～8月8日に「親子で考える平和」が函南町中央公民館で開催されました。この展示は、親子で戦争の悲惨さや平和の尊さ、命の大切さなどについて考えていただくきっかけとして、毎年開催しています。来場者の意見・感想の一部を紹介します。

□戦争のことを知る機会があまりなかったため、とても良い経験になりました。読み聞かせコーナーなどで戦争の頃の様子なども知ることができたので、よかったです。（42歳 女）

□原爆の恐ろしさがわかりました。戦争はとても怖いし、二度とやってほしくありません。絵本からもその怖さが伝わってきました。写真やパネルもあって、わかりやすく、いい勉強になりました。（13歳 女）

□私自身戦争をよく知らないため、子どもたちに戦争の恐ろしさを伝えるのはな

かなか難しく、親子共々一緒に戦うことについて考えています。このような機会はとても大切で、今後も続けてほしいと思います。読み聞かせを聞き、私自身も胸がつまりました。（42歳 女）

□戦争は怖いとは思っていただけ、今回写真を見て、あらためて本当に怖いものだなと思った。核兵器とかは絶対に使ってはいけないと思うし、人を傷つけるような物を作る必要はないと思った。戦争のせいで、まったく関係のない小さな子どもたちが亡くなっているのは本当に嫌だと思ってしまう。（14歳 女）



▲たくさんの小中学生が来場し戦争の恐ろしさを学びました

（敬称略）